

韓国・国政関係者の竹島上陸にかかる政府対応についての決議

平成 28 年 8 月 2 日

日本の領土を守るため行動する議員連盟
会長 新藤義孝

当議員連盟は、平成 28 年 8 月 1 日役員会において、7 月 25 日に韓国最大野党「共に民主党」文在寅（ムン・ジェイン）前代表が竹島に上陸した件について政府より説明を受けた。

外務省からの事実関係説明によれば

7 月 24 日 18：30 在韓大使館より 25 日に竹島を訪問する計画が報じられている旨の一報。

7 月 25 日 10：10 頃 文在寅前代表が竹島に上陸。

11：15～ ラオスにおいて日韓外相会談（約 40 分間）。

14 時前 日本側、上陸の報道を確認。

14 時半頃 在韓大使館より韓国外交部に対し抗議、再発防止を求めた。 とのこと。

この日の日韓外相会談は 7 ヶ月ぶりのものであり、慰安婦問題への両国間の合意を履行するための確認や、両国間の個別の懸案事項について会話がなされ、岸田大臣からは竹島問題についても提起されたとのこと。

しかし、未来志向の日韓関係を構築するための重要な会談が行われているまさにその時、韓国側は国政関係者が竹島に上陸し、警備隊を激励し島内を巡察していた。

韓国・国政関係者の竹島上陸は、2012 年 8 月李明博大統領が行った後、2013 年 8 月の国会議員の上陸以来、3 年間行われていない。

しかも今回、文在寅前代表は島の警備隊に持参したピザやチキンなどを振る舞い、島の宿泊所で一泊するという韓国の行政による特別な対応が行われている。

一般に竹島を訪れる人の滞在時間は約 20 分といわれており、今回の上陸は韓国行政当局の判断と特別な取り扱いが無ければ実行不可能なものである。

文在寅前代表は次期韓国大統領選挙の有力候補者と目されており、決して野党の一政治家が一般客として竹島を訪れたものではない。

こうした日本として絶対に見逃せない事態が発生していたにもかかわらず、日本側は情報が大臣以下幹部にすら伝わっておらず、外相会談の場で岸田大臣は抗議することも、視察中止を申し入れることも出来なかった。

さらに、午後に行われた日本としての抗議は、在韓国大使館員から韓国外交部への電話による形式的かつ低レベルなものである。

また、このような事態が起きたことを外務省は報道発表しなかったため、多くの日本国民はその事実を知ることなく、日本社会には何の世論も起きなかった。

我々議連は今回の事態に対する日本側の対応が、韓国側に誤ったメッセージ、即ち「韓国・国政関係者の竹島上陸を日本側は大きな問題としない。」となって伝わることにならないか、非常に危惧している。

今回の韓国・国政関係者による竹島上陸は、慰安婦問題を最終的かつ不可逆的に解決しようとする両国間の外交努力を無にする暴挙である。

外相会談の最中に日本との信頼を裏切るような事態を起こす外交環境では、その他の慰安婦問題など日韓の懸案事項を前に進めることはいかがなものかと言わざるを得ない。

我々日本の領土を守るため行動する議員連盟は、この度の韓国・国政関係者による竹島上陸に関し、断固抗議の意志を表明すると共に、今後こうした事態を招くことのないよう政府・外務省に改善を強く申し入れる。

記

- 1 我が国固有の領土である竹島への韓国・国政関係者の上陸に対し、政府はさらに高いレベルで断固たる抗議を行い、再びこのような暴挙が繰り返されないよう韓国政府へ強く申し入れること。
- 2 外務省は今回の事態を猛省し、竹島問題に関する情報収集（特に韓国内インターネット報道の厳密チェック）・分析、及び政府内の情報伝達体制について早急に見直しと対応の徹底を行い、竹島問題対策を抜本的に強化すること。